

# 千年の森便り N099

2011. 12. 12

ちば千年の森をつくる会

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

## お知らせ

### 1月の活動日

日 時：1月15日(日) 9時30分 県民の森「木のふるさと館」駐車場集合

活動内容：巨木林調査（巨木林の調査区の2m以上の樹木について、樹高、直径を測ります。）

シイタケ栂木の保護網設置（未設置の2か所）、スハマソウ生息地周辺環境整備

落ち葉掃き（広場周辺の落ち葉を堆肥箱に集めます）

## 活動の記録

### 12月4日(日) 晴

参加者：新井通子、伊藤道男、鶴沢和男、苺米均、栗山忠俊、久我哲也、坂本文雄、重岡謙作、福島成樹、真鍋昌義、村野忠夫、山口衛 会員12名 倉俣武男講師 計13名

#### ○ 植物調査(シダ類)

倉俣講師指導による2回目のシダ植物調査を行いました。前回に続き、禁断の岬北側急斜面、吊橋を降りて北側斜面とスダジイ林南斜面。転落しないよう木に掴まりながら、講師の説明を聴き、観察・調査・撮影・種名表札かけ、標本採集を行いました。この日新たに確認された種はケブカフモトシダなど3種、豊英島で確認されたシダ植物は累計48種となりました。9種-13標本(注)を採取し栗山植物班長が標本作成中です。(注)孢子葉と栄養葉の特徴の異なる種は2標本採取したため、合計13標本となりました。(真鍋)

#### ○ 危険木対応

11月に確認した枯れ木などの危険木の伐採処理を行いました。マークした20本に当日確認した6本を加え、26本を処理しました。枯損木は、作業中に振動で上部が折れて落下するものもあり、二人一組で慎重に作業しました。また枯れたばかりの太いものは手鋸ではラチがあかず、予定外のチェーンソーに頼る場面が数多くありました。

いい機会なので、苺米会員に講師役をお願いして、ロープや滑車をつかった伐採方向のコントロールと安全確保などの指導を受け、それぞれ体験することができました。

巨木林周遊の歩道はほぼ処理しましたが、ホテイ岬など他のエリアについても、早急に危険木の確認と処理を行いたいと思います。(伊藤)

			
崖よじ登り標本採集	アスカイノデ	重岡さん伐採にトライ	伐採木を検討

#### ○シカに遭遇

昼食後、秋の豊英島の写真を撮るために入り江に下っていく途中、前方に足音！その方向を見ると逃げていくシカ1頭の白いお尻が確認できました。

シカは禁断の岬へ向かう尾根を越えて、北側の斜面へ逃げて行きました。雌雄は不明でしたが、11月の個体数調査に引き続きシカ1頭が確認されました。

(おまけ) もう12月というのにヤマカガシを見つけました。(福島)

## ○ 野鳥観察

カワウ1 オシドリ2+声 トビ2+声 コゲラ1+声 ヒヨドリ5+声 エナガ10+声 ヤマガラ2+声 メジロ声 ハシボソガラス声 ハシブトガラス声 以上10種

夏は声だけの記録が多かったのですが、林内の落葉が進んで見通しが良くなったので、鳥の姿が見やすくなりました。関東ではこれからがバードウォッチングに最適な季節です。

その一方でトビはかろうじて2羽だけ見られ、聞こえる声も少なくなりました。ヘラブナ釣りがシーズンオフになり、餌が獲り難くなったから、イワシの水揚げなどで賑わう漁港に移動したのだと思います。(坂本文)

## ○ 竹テーブルが完成

苧米会員の尽力で整備していたマダケで制作したテーブル2、ベンチ4、荷物置き台2が3か月越しの作業で完成しました。

マダケの有効利用といった意味でも、また用途合わせて太さを選び、丸いもの、割ったものなどを組み合わせて使うなど、苧米さんの持つ自然を生かす知恵を学ぶ機会といった意味でも、貴重な機会でした。ありがとうございました。(伊藤)

## ○ 栽培キノコの収穫

シイタケ約2キロ採取、おいしく食べました。なめこも少々。

## ○ 晩秋～初冬の豊英島

		
青空に紅葉(福島)	落葉広葉樹の森(福島)	ヤマカガシ(福島)
		
ホテイ岬対岸(坂本)	紅葉の豊英島(栗山)	竹テーブルに全員集合13名